

第一学院
卒業生が感謝の式
乗り越えて立志の春

P734-1

卒業生が感謝の式

第一学院高校盛岡キャンパス（吉田真由子キャンパス長、生徒83人）の卒業証書授与式が19日、盛岡市盛岡駅西通の市民文化ホール小ホールで開かれた。第一部の式典では卒業生30人に証書を手渡し、第2部の感謝の式では卒業生が学校生活での学びや成長、目標などを思い思い述べ、新たな道に巣立つ決意を示した。会場には保護者の他、卒業生の出身中学校や転学前の高校の教諭も出席し、挫折や葛藤などを乗り越え、無事に卒業を迎えた教え子の門出を見守った。

れから社会で盛にぶつ
かっても、皆さんなら

他人の痛みに寄り添い、励まし合える存在になれる。頑張つてくたさい」と激励し、卒業生を送り出した。

同校は不登校や高校へ進学し、中学の時に資格を得た自信を糧に、将来中退を経験した生徒が「拒否」になったが、自分の夢に向かって進むべく在籍する通信制・を変えたと決めてこのと誓語を述べた。卒業単位制の高校。基礎学 学校に入学した。オー 後はドレススタイリス力を育む授業の他、職 フンキャンパスやボラ トを自指し、宮城県仙台体験やボランティア ティアでの経験か 台市のプライダル専門ア、本校スクーリング、自ら行動し、自分 学校に進学する。など、コミュニケーションの思いを率先して相手 感謝の式では、生徒ヨンを培う体験型授 に伝える大切さを学ん が一人ずつ登壇。入学業を取り入れている。だ。おかげで人への苦 の理由、学校での思い出、先生や友人、家族への感謝を語った。中

波町の千葉あさひさん 流の幅が広がった」と (18)は一人間関係に 振り返り「この学校で せる生徒や、原稿を見ずにあののまま今の思いを語る生徒もいた。 滝沢市の柿崎雄太さ (18)は「スクーリ

感謝や決意を壇上で述べる生徒



ンクなどでの交流が、 将来自分が何をしたいかを真剣に考える機会となり、一度諦めかけたシステムエンジニアを目指すきっかけになった。挫折した経験を学びに変え、進学後も逃げずに頑張りたい」と決意を語った。 吉田キャンパス長 (32)は「皆さんの成長する姿を一番近くで見られてよかった。」